

(参考①) 1.5℃シナリオ：温暖化が抑制された世界

国を始めとした脱炭素政策・規制

脱炭素社会における市場変化と技術進歩

金融機関・投資家の脱炭素対応

脱炭素に向けた政策・規制が整備

- 炭素価格の導入
(排出量取引/炭素税)
- 排出量報告制度の強化

その他の外的要因

- 地政学的変化（ロシアウクライナ戦争）
- トランプ政権下でも、世界的にESGが推進
- 為替変動（米国経済、国内金利動向）

脱炭素による市場変化

- 顧客がGHG低排出企業を選定
- 原材料市場にて脱炭素が推進
- エネルギー市場にて脱炭素が推進
- 運送市場にて脱炭素が推進
- 人材市場の選定基準が変化
- 石油系製品の代替需要増加

脱炭素技術の進歩

- 省エネ・再エネ技術の進歩・普及
- 省エネ製造技術の進歩・普及
- 脱炭素燃料活用技術の進歩・普及
- 廃棄物再利用技術の進歩・普及

脱炭素に向けた投融資を推進

- ESG投資の増加
- 融資にて脱炭素関連開示を重要視

- 古紙回収物流の燃料・物流コスト高により調達コスト上昇
- サプライヤーに課される炭素価格が仕入品の価格に上乗せ

- 運送車両のEVへの代替
や飛行機・船舶のバイオマス燃料への代替が進み
運送価格が上昇

- 排出量取引がGXリーグ外の企業にも導入

原材料調達元

運送業者

当社

運送業者

顧客

エネルギー事業者

設備等事業者

人材市場

金融機関・投資家

- 化石燃料減産による、化石燃料由来エネルギーの高騰
- 再エネ由来エネルギー需要増による、再エネ由来エネルギーの高騰

- 人材が環境への取組をより重視して企業を選択

- 省エネ設備・再エネ設備や高効率製造設備、代替燃料設備（水素等）の導入選択肢増加

- ESG投資がより盛んになり、サステナビリティ関連指標開示状況で投資格付けや信用が変動
- 融資条件でサステナビリティ関連の指標がより重要視

- 紙・板紙分野全体では必要以上の森林伐採削減の視点から紙製品の需要減少
- サプライチェーン上流企業へのGHG排出量開示、削減の要求・取組が高度化
- GHG排出量が少ない製品を選定
- プラスチック代替包装の需要増

外的環境

予想される具体的状況（当社周辺）